

if OFFICIAL MATCHDAY PROGRAM
Division2 No.2
発行:(一財)関東大学サッカー連盟

得点ランキング

- 4点 渡邊龍(日本体育大学)
- 3点 関岡亮太(立正大学)
- 3点 石塚龍成(関東学院大学)

以下 2 得点 6 名

アシストランキング

- 3アシスト 雪江悠人(立正大学)
- 2アシスト 加藤陸次樹(中央大学)
- 2アシスト 奥村晃司(拓殖大学)
- 2アシスト 関岡亮太(立正大学)
- 2アシスト 有田光我(関東学院大学)

以下 1 アシスト 18 名

前節(第 2 節)の結果

- 東京学芸大学 0-6 関東学院大学
- 中央大学 3-1 青山学院大学
- 慶應義塾大学 1-3 東海大学
- 日本体育大学 3-2 拓殖大学
- 立正大学 4-1 神奈川大学
- 東京農業大学 1-4 立教大学

JR東日本カップ2018 第92回関東大学サッカーリーグ戦 2部

チーム名	立正	中大	立教	日体	開学	東海	香学	拓大	東農	神大	慶大	東学	勝点	試合数	勝数	分数	負数	得失点	得失点差	順位	
立正大学										401	401		6	2	2	0	0	8	2	6	1
中央大学							301					200	6	2	2	0	0	5	1	4	2
立教大学						100			401				6	2	2	0	0	5	1	4	2
日本体育大学				201				302					6	2	2	0	0	5	3	2	4
関東学院大学				102								600	3	2	1	0	1	7	2	5	5
東海大学			001								301		3	2	1	0	1	3	2	1	6
青山学院大学	103									302			3	2	1	0	1	4	5	-1	7
拓殖大学				203					101				1	2	0	1	1	3	4	-1	8
東京農業大学			104					101					1	2	0	1	1	2	5	-3	9
神奈川大学	104						203						0	2	0	0	2	3	7	-4	10
慶應義塾大学	104					103							0	2	0	0	2	2	7	-5	11
東京学芸大学		002			006								0	2	0	0	2	0	8	-8	12

『if』は関東大学サッカー連盟HPからもダウンロード可能です。
こちらの QR コードよりぜひご覧ください！



サッカー部はジールで決める!

体育会系学生就職支援企業
Zeal Athlete Agency



PICK UP MATCH

文・平野玲奈

日本体育大学 対 中央大学

天皇杯都県予選のため 1 週間のインターバルを挟み『JR 東日本カップ 2018 第 92 回関東大学サッカーリーグ戦』の第 3 節が行われる。

第 2 節では今季関東リーグに昇格した関東学院大学が東京学芸大学に 6-0 と大勝。同じく昇格組の立教大学も開幕から 2 連勝と好調だ。一方、1 部リーグから降格の慶應義塾大学は東海大学に敗れ、まさかの 2 連敗。降格圏の 11 位に沈むなど、早くも波乱の展開となった。

慶大と同じく 1 部から降格の日本体育大学は第 2 節で拓殖大学と対戦。この試合では、2 戦連続通算 4 得点と好調の MF 渡邊龍(4 年)を筆頭に攻撃陣が健闘し、シーソーゲームを 3-2 で制した。矢野晴之輔監督は「取って取られての苦しい展開だった」と振り返りつつ、膠着状態となった後半で「攻撃に時間を割くことができた」ことが勝利のポイントとなったと分析。試合終盤には DF 田宮碧人(4 年)が退場したが、10 人ですっかりと守り抜き開幕からの 2 連勝を挙げた。

今節その日体大と対戦する中央大学も、エースの FW 大橋祐紀(4 年)が 2 得点を挙げ、青山

学院大学に 3-1 と快勝。試合終了間際に失点を喫したが、被シュート数 4 とチーム一丸となった守備で青学大の攻撃陣をブロック。手塚聡監督はその試合展開を「予想通り。攻守に課題があるわけではない」とコメント。「自分たちで試合をコントロールできたことが、90 分を通しての勝利につながったというゲーム」と、自信をのぞかせた。

開幕前の 3 月下旬に行われた天皇杯東京都予選では同じ会場で行っており、互いの戦いぶりを目の当たりにしている。矢野監督は中大を「個人の能力が高く攻撃力のあるチーム」と評価。また、手塚監督は「90 分間あの勢いで来られると厳しい」と日体大を警戒する。ただ、その勢いも「90 分間もたずに逆転されていた(同監督)ことから、強力な攻撃陣を擁する両チームの「我慢比べ」になるのではと予想した。僅差で 2 部に降格した日体大と、1 部への昇格を逃した中大。ともに熱戦が繰り広げられるだろう。

出場停止：田宮碧人(日体大)
警告 3 回：なし
前年度対戦成績：なし

PICK UP MATCH

文・久保祐人

慶應義塾大学 対 青山学院大学

第 3 節を迎え、今週末からゴールデンウィークの 3 連戦となる『JR 東日本カップ 2018 第 92 回関東大学サッカーリーグ戦』

今季 1 部リーグから降格してきた慶應義塾大学は、第 2 節で東海大学と対戦した。しかし昨年 2 部リーグで残留争いを強いられていた東海大を相手に、1-3 で敗れる結果に。この 2 試合で合計 7 失点と守備陣が崩壊し、まさかの 2 連敗を喫した。東海大戦を振り返り、富田賢監督は「相手は立ち上がりからうちのウィークポイントをついてきて、勢いにのまれてしまったという印象」とコメント。修正できないままズルズルと失点を重ねてしまった。一週間を挟んで迎える第 3 節の試合では、10 番でファジアーノ岡山に加入内定している MF 松木駿之介(4 年)を中心に、立て直しをはかりたいところだ。

対する青山学院大学は、昨年わずかな差で 1 部昇格を逃した中央大学と対戦した。試合は終始中大にペースを握られ、1-3 で敗戦。開幕戦に続いての連勝とはならなかった。流郷吐夢監督は、「守備のプレッシングのところ

を整理して試合に臨んだが、中大さんがそれを上回ってボールを動かしてきた。結果、ボールを奪えず、自分たちらしいサッカーができなかった」と敗戦の要因を語った。

ともに敗戦から、どう切り替えるかが重要となる今節。慶大の富田監督は青学大について、「すごくひたむきにハードワークしてくるチーム」とコメント。そのひたむきさでどう対峙するか。1 年での 1 部復帰を果たすためには 3 連敗は避けたいところ。一方、青学大の流郷監督は、今節のポイントで「自分たちの武器でもある、どんな状況でもボールを回し、質をあげてぶれずにやっていくこと」と語った。青学大にとって、今節は集中応援日でもある。なんとしても勝つて、最高の 1 日にしたい。

出場停止：なし
警告 3 回：なし
前年度対戦成績：なし